

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：地域振興対策費

事業名 清流の国ぎふ推進補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域振興課 地域振興係 電話番号：058-272-1111(内2058)

E-mail：c11143@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 230,000 千円 (前年度予算額：250,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	250,000	0	0	0	0	0	0	0	250,000
要求額	230,000	0	0	0	0	0	0	0	230,000
決定額	230,000	50,000	0	0	0	0	0	0	180,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

地域資源を活かしたまちづくりや、世界遺産を含めた地域固有の歴史資源、文化財を軸とした魅力づくりなど、市町村等が自立的発展を目指して自ら考え自ら行う「清流の国ぎふ」づくりを補助金により支援する。

令和3年度には、デジタル化により生活を豊かで安心・便利なものにし、地域の魅力づくりや活力づくりを図ることを目的として「DX推進事業」を創設した。

また、コロナ禍による働き方の変化や都市の魅力喪失などにより、地方回帰の動きが高まっていることから、令和4年度は市町村が行う移住者及び関係事項の獲得に繋がる普及啓発事業や地域体験事業、受入体制整備事業などを支援するため、「新次元の地方分散促進事業」を新設する。

<事業メニュー>

- ①清流の国ぎふづくり推進事業
- ②SDGs推進事業
- ③DX推進事業
- ④新次元の地方分散促進事業【新】
- ⑤地域づくり総合支援事業
- ⑥交流人口拡大事業
- ⑦歴史・文化を活かした地域の魅力向上事業
- ⑧市町村振興事業(県事務所長裁量分)

(2) 事業内容

【補助事業者】市町村等

【補助率】1/2以内(ただし、②③④⑤⑥⑦については、知事が特に必要と認める場合は2/3以内)

【補助限度額】①②③④⑤：1,000万円 ⑥⑦：2,000万円
⑧：200万円

【補助対象事業】

- ① 市町村が策定する「創生総合戦略」に基づく事業
- ② 市町村が策定する「創生総合戦略」に基づき、SDGsの理念に沿った取組により新たな価値を創出し、持続可能な地域づくりを進める事業
- ③ デジタル化により生活が豊かで安心・便利なものにし、地域の魅力づくり等を図ることを目的として、DXを推進する事業
- ④ 新たな地方回帰の動きを捉えた移住者及び関係人口の獲得に繋がる普及啓発事業や地域体験事業、受入体制整備事業など新次元の地方分散促進事業
- ⑤ 人口減少・高齢化が進む地域において、暮らしに必要な各種サービスの提供や機能の集約・再編、人材確保など一体的に取り組む事業
- ⑥ 「スポーツ立県ぎふ」の推進や交流人口の拡大、地域経済の活性化等に資する、基盤または施設整備事業
- ⑦ 世界遺産等、または、地域固有の歴史資源等を活かした地域の魅力づくり、人材育成等を継続・発展させる事業
- ⑧ 他市町村の模範となる先導的・個性的な地域づくり事業

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率は、統合・メニュー化前の旧補助事業と同等の率を設定。

(4) 類似事業の有無 有

【類似事業】「清流の国ぎふ」観光回廊づくり推進事業費補助金

同補助金は、広域的な連携・役割分担に基づく事業や県内の主要な観光資源の誘客強化に向けた誘客事業、施設整備事業に限定。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	250,000千円	<ol style="list-style-type: none">① 清流の国ぎふづくり推進事業② SDGs推進事業③ DX推進事業④ 新次元の地方分散促進事業⑤ 地域づくり総合支援事業⑥ 交流人口拡大事業⑦ 歴史・文化を活かした地域の魅力向上事業⑧ 市町村振興事業（県事務所長裁量分）

決定額の考え方

新次元の地方分散促進事業の財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

- 2 健やかで安らかな地域づくり（地域づくり総合支援事業）
- 3 地域にあふれる魅力と活力づくり（SDGs推進事業、DX推進事業、交流人口拡大事業、歴史・文化を活かした地域の魅力向上事業）

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	清流の国ぎふ推進補助金
補助事業者(団体)	市町村、一部事務組合、広域連合、民間団体等 (理由) 市町村等が自立的発展を目指して自ら考え行う事業を支援するため
補助事業の概要	(目的) 「清流の国ぎふ」づくりの全県的な推進 (内容) 市町村等が取り組む地域の魅力づくりなど、「清
補助率・補助単価等	定額・定率・その他(例:人件費相当額) (内容) 1/2以内他 (理由) 補助事業者の主体性を損なわない範囲で最大の補助を行うため
補助効果	地域の魅力向上等、「清流の国ぎふ」づくりの全県的な展開が
終期の設定	終期 令和4年度 (理由) 事業開始から5年目となるため

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の成果を一過性のものとせず、市町村等による地域振興事業を支援し、みんなが主役の「清流の国ぎふ」づくりの全県的な展開を図る。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前(R)	R2年度実績	R3年度目標	R4年度目標	終期目標(R)	達成率

補助金交付実績 (単位:千円)	H30年度 212,120	R元年度 259,780	R2年度 149,020
--------------------	------------------	-----------------	-----------------

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<p>内示:93事業(198,000千円) 交付実績:72事業(149,020千円) <内訳>清流の国ぎふづくり推進事業 11件 47,300千円 SDGs推進事業 10件 27,000千円 交流人口拡大事業 2件 10,700千円 歴史・文化を活かした地域の魅力向上事業 6件 17,900千円 清流の国ぎふ移住促進事業 6件 13,700千円 地域づくり総合支援事業 1件 8,700千円 市町村振興事業 36件 23,720千円</p> <p>指標① 目標:___ 実績:___ 達成率:___ %</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標:___ 実績:___ 達成率:___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標:___ 実績:___ 達成率:___ %</p>

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	「清流の国ぎふ」づくりの全県的な展開」という目的を達成するためには、県の関与が必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 2	当該補助金に対する市町村等の実施要望(R2)は、次のとおり関心が高い状況にあることから、事業の有効性は高い。 ・清流の国ぎふ推進補助金総額：130%(予算額に対する要望額) うち清流の国ぎふづくり推進事業：150%(同上) うち同事業(交流人口拡大事業)：89%(同上) うち同事業(歴史・文化を活かした地域の魅力向上事業)202%(同上) うち地方創生モデル事業：15%(同上) うち地域づくり総合支援事業：29%(同上) うち市町村振興事業(本庁協議分・県事務所裁量分)：164%(同上)
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	既存補助事業の統合・メニュー化に併せて、他市町村の模範となる先導的・個性的な地域づくりに取り組む市町村振興事業をより一層効率的かつ効果的に実施するために、従来の本庁執行から地域の実情に精通している県事務所に執行方法を見直している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 「清流の国ぎふ」の全県的な展開を図るためには、継続して市町村に積極的な活用を促す必要がある。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか コロナ禍による地方回帰の動きを捉えて、移住者や関係人口の獲得に資するため、新規メニューを追加し、市町村を支援する。
--